

中学3年生「模擬国際連合」



中学校3年生の秋には模擬国際連合を開催します。

模擬国連とは、1923年にアメリカのハーバード大学にて開催された「模擬国際連盟」にその原点があり、政治の仕組みを理解し、国際問題の解決策を考える過程を体験できる教育プログラムとしても高い評価を受けています。現在では世界中の大学・高校において授業や課外活動としても採用されています。

本校では、所属大学のサークル活動で「模擬国連」を学んでいる卒業生の支援を受け、会議当日まで約8カ月間準備を重ねます。



2021.09.02 模擬国際連合 都立武蔵

午前の部: 海洋プラスチック問題
午後の部: 気候変動問題



今年度の参加国は15カ国に上りました。事前準備では、参加国の4名の大使が自国の政治・経済・文化などを十分に調べた上で討論に臨み、決議案を作成していきます。

会議当日の午前中は海洋プラスチック問題、午後は気候変動問題についての議論が行われました。初めは緊張もあってか、やや硬い様子でしたが、非着席討議の時間には積極的に他の国との交渉を行いました。

国ごとの発表では、自国の立場を訴えながら問題に正面から向き合いました。どの大使国も自国理解を深め、データに基づいた自国の立場や主張を述べ、よりよい決議案をまとめることができました。